

## ナミビア情報

ナミビアで感じた日本と違う点を紹介したいと思います。

ナミビアへ行くには。飛行機で・・・

日本 - 香港 (5 時間) - 南アフリカ (13 時間) - ナミビア (2 時間)

乗り継ぎ (待ち時間) も入れたら、1 日以上かかります・・・。

首都は、Windhoek (ウイントフック、ヴィントック) で標高は 1,720m の高地。

建物はヨーロッパ調の物が目に付き、発展途上国だと一瞬思えないくらい。

- ・首都の歩行者用の信号は 3 秒で点滅に入る。
- ・食べ物の物価は日本と同じくらい。
- ・一番寒い月は 6 月と 7 月である。
- ・重要な交通機関であるミニバスは人が集まらなると出発しない。6 時間待った事がある。
- ・銀行の口座は維持手数料が取られる。ATM で、お金を降ろす際も手数料が掛かる。
- ・銀行の ATM では、1 日最大 N\$1500 (約 22,500 円) しかおろせない。
- ・物が簡単に手に入り、意外と生活には困らない。
- ・野菜が美味しい。生野菜も食べる事が出来る。
- ・ガソリンは同じ様に高い。リッター N\$10 (約 150) 円。
- ・新聞は、首都から来るため昼頃に手に入る。
- ・多くの方は郵便物は私書箱を利用している。
- ・サマータイムが 7 ヶ月もある。(なので通常時間帯は 5 ヶ月間。)
- ・ガソリンスタンドが、日本のコンビニみたいなショップを兼ねている。
- ・水道水を、そのまま飲む事ができる。
- ・テレビは 2,3 チャンネルしかない。(衛星放送を契約すると百チャンネルくらい閲覧できる。)
- ・意外や温泉がある。
- ・登山できる山がある。
- ・日本のメーカーの車を頻繁に目にする事が出来る。
- ・多くの方がシャワー後に体にクリームを塗るそう。
- ・タクシーは、一人ずつ課金される。(すし詰めにされるときも。)
- ・意外と、下水道が整備されている。
- ・砂漠の国なのに、庭に水を撒く光景を良く目にする。
- ・普通に道路へゴミを捨てる習慣があるみたいだ。
- ・貧富の差が激しい。(お金を持っている人はリッチな暮らしをしている。)
- ・喫煙率が高い。(しかし高価で手に入らないので頻度は少ない。)
- ・HIV 感染率が高い。
- ・失業率が高い。
- ・通常、ヒッチハイクでもお金を取られる。